

2023 年 11 月 4 日(土)夜『神聖で繋がり合う日』 メール前文と始めの話

2023 年 11 月 4 日(土)夜 『神聖で繋がり合う日』 メール前文

俯瞰の視座という観点から共有してきた“神聖意識”を別の角度から観ますと、それはそのままが“不動心の境涯”であるといえます。ですから、私達の心が何を見ても聞いても、“有りのまま“や”在るがまま“のすべてを、なんの評価もせずにとただ見つめ光を放っていただけるなら、それはホンモノの神聖意識だといえます。

逆に、見たものや聞いたことにいちいち心を揺さぶられ、喜怒哀楽のジェットコースターに乗って気分が上がったり下がったりしているとしたなら、それは俯瞰もできておらず神聖の意識も顕し切れていないといえます。

皆様の参考になるかも知れませんので、ここで或る方が不動心を得るに至った体験を共有いたします。その方は私に、ご自身の夢の中に昌美先生が現われ、大津波が来る海岸線に立って不動心でいられるためのマンツーマン訓練を受けられた体験をお話しくださいました。

その訓練は、海岸線に立って大津波に遭遇しても、何も思わないでいられるようになるためのものでしたが、最初のうちは「いやだ」とか「こわい」と思っは、波にさらわれ流されていたそうです。

そして、そのたびに昌美先生から事後指導があり、最後には「恐ろしい」とも「大丈夫だ」とも思わずに、唯々海と一つに繋がった心境になれて、そうすると迫り来た大津波がその人の前で二つに分かれ、しぶきさえもかからずに立っていることが出来たとのことでした。

そこへ至るプロセスは以下のとおりです。

- ◎ネガティブな想いを薄めるためにポジティブな想いを当然認識とする
- ◎途中までは必要だったポジティブな想いさえも手放す
- ◎善し悪しを思わなければ海や空や大地と一つになれる

それはその昔モーゼが行なったとされることと同じで、意識を”俯瞰の視座“に置きさえすれば、そのようなことは誰にでも出来るのだそうです。私も眼を閉じてイメージしてみましたが、その方の成功体験を共有することが出来ました。

また、いつも申し上げております“神聖で繋がり合った意識”とは、守護霊・守護神と繋がり合った意識であり、私達の意識が神々と同じ境涯にあるということを示しています。そのような観点から、いざやの時に不安動揺もせずポジティブにも偏らない意識は、守護の神霊と一体でありつづけながら暮らしている“私達の普段の生活”のなかでも培えるものだと思います。

そこで土曜日の夜は、そのよう不動心の意識をもって、地球上で生じているあらゆる出来事や現象を批判・非難・評価せずに見つめながら、すべての自然や生きとし生けるものと一体になり、全人類を神の腕で抱きしめる神聖の視座に立ち祈ってまいります。

そうすることで私達は、「うつるもののおのずうつりておのず消ゆ 己れは澄みてただひそかなり」の心境に近づき、あらゆる災難や災害から縁あるすべてを守る力を持つことが出来ます。

2023 年 10 月 8 日(土)夜 『神聖で繋がり合う日』 始めのお話

皆さま、こんばんは。夜のズーム祈りの会を始めます。今夜は案内メールにも書きました不動心をテーマにして、みんなが互いのラダーとなり意識を引き上げ合って、全員が俯瞰の視座に立つ日にしてまいりたいと思います。

私達の本来性は神聖であり、すべての人類が宇宙を創造した“いのちの源の理念“を地球界に展開するために分かれ現われた存在であります。しかし、地球の命運を握るその私達は何千年もの間、いのちの真実を忘れていたがために、地球界の運命は今まさに風前の灯火状態にあります。

この現状からすべての生物や自然を守り、人類全体に意識進化をもたらすために、私達に出来ることは何かと聞かれたら、皆様はどう答えられるでしょうか？「祈りしかないよね」とか、「神聖復活の印をとにかくたくさん組むことだ」とか、「人類に真理を広めることじゃないかしら」とか、色々なご意見やお考えがあると思います。

それらはすべて正しいお考えだと思いますが、私はそれ以前に、先に宇宙の真理に繋がった私達が、自身の想念・言葉・行為に神聖や真理を顕わすことが第一で、それを行ないながらの祈りや印であれば、最高だと思っております。

それは、私達が「どのように生きればみんなが幸せになれるのか」を体現した”見本“になるということでもあります。そのためには、片方で業想念行為を垂れ流しながら祈りや印を行なうのではなく、自らを磨き高め上げながら祈りや印に取り組むといった“一瞬一瞬の時間を有意義に過ごす取り組み”が必要だと思います。

そこで大切なことは、私達が本気で神としての意識を思い出し、その意識を私達の当り前にすることです。言葉を代えて言えば、私達がまず先に”肉体を持って生きる神“として甦り、全人類と生きとし生けるものと大自然の防波堤になるということでもあります。

私達がすべての自己否定や自己限定を卒業した心境で”今ここ“に生きてさえいれば、私達が存在している空間の周囲は、どのような災いの波にも犯されることがありません。それは、メールでも紹介しましたように、私達が神聖意識でいさえすれば、大津波をも割って周囲の自然や生物や人々を守る力を出(いだ)すことが出来るほどの可能性を、私達が秘めているということでもあります。

私達は常日頃から、呼吸をするように世界平和を祈り、自然や生物に対して感謝を捧げ続け、すべてに大調和をもたらす神聖復活の印を組んでおります。それは、意識するとしないとにかかわらず、自然や生物を守り、人類の意識変革を促す神聖の種を蒔いているということでもあります。

本日、私達は、そのような徳のある生き方をして来たことに自信をもち、すべての出来事や現象を神界から観ていると認識します。そして、すべてを俯瞰する視座に立っていることを意識しながら、地球にかかわるすべての状況を見つめます。そして、そのときに脳裡をよぎる様々な想いをも俯瞰しながら、一切の想念を流れる雲のように見つ、『すべてを生かし育むいのちの大元からの光』を放ってまいりたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

それでは、世界平和の祈りを日本語と英語で行ないます。三分半の CD を使って行ないますので、眼を閉じて神聖の視座に焦点を合わせてお祈りください。私が「はい、ありがとうございます」と申し上げましたら目を開けてください。それでは始めます。